

合格体験記 (AO方式入学者選抜)

第Ⅱ項 学芸 学部 音楽 学科 音楽文化 専攻

出身高校名 福岡女学院 高等学校

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

オープンキャンパスに参加して、本校の雰囲気、充実した音楽環境に魅了されました。
私は小学校の音楽教師を目指しています。本校の音楽文化専攻では、中高の教員免許と小学校の教員免許も取得できます。本校でピアノの技術の向上とともに将来、子供達の指導に役立つ音楽療法や他の学部での講義も幅広く学んでいきたいと思い、志望校に決めました。また、高校はキリスト教主義の学校だったので、引き続きその教えのもとで学校生活を送ることができると決めた一つの理由になりました。

- (2) AO方式入学者選抜を受けようと思った理由。

本校に入学したいという気持ちが強かったので、自分の意志を直接伝えることができる機会を逃がしたくなかったからです。

また、これまで幼少期から挑戦してきたピアノコンクールや音楽高校での様々な活動等、それらが評価される入試形態であるAO入試なら自分に合っていると思ったからです。

- (3) AO方式入学者選抜においてアピールした活動、経歴、資格等。

音楽高校での仲間と行ったロビーコンサートや老人ホームの演奏ボランティア活動をアピールしました。
また、専攻楽器のピアノだけではなく、副科の声楽に力を入れてきたことや、音楽科全体で行われるメサイアクリスマスコンサートへの出演、2017年に行われたピアノコンクールのDuo全国大会ベスト8の受賞歴など自分が高校生活で挑戦してきたことをアピールしました。

- (4) 出願書類作成や面接で心がけた点。

〔出願書類作成〕

専門課題は、自分の好きな作曲家について事前に本やインターネットから情報を収集し、それからまとめていくのがかなり時間がかかりました。志望動機や自己アピールも伝えたい優先順位を考慮して読み手に伝わりやすい文章を心がけました。何度も何度も書き直しを行い、先生にアドバイスをいただきました。

〔面接〕

まず、大学案内やホームページの志望学部の情報を暗記するほど読みました。またそれに加えてオープンキャンパスで先輩方から得た情報をもとにして、自分なりに質疑応答のメモを沢山作り、音楽科の先生方、家族や友達とたくさん面接の練習を行いました。おかげで本番の面接では、緊張した中でも、自分の意志を明確に伝えることができました。

- (5) 選抜を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

AO入試でアピールできるように学校の勉強も頑張りつついろいろなことに挑戦してください。
書類作成にはかなり時間がかかるので早い時期から準備することをおすすめします。
オープンキャンパスは何度も行ってください。行く度に新しい情報や発見ができますし、それが書類作成や面接の時に役に立ちます。文章をうまく書けず苦しい時もありましたが、これだけやったと思えるくらい努力をすれば本番での自信に繋がるので体調には十分に気をつけて頑張ってください。健闘を祈っています。